

公共建築木造工事標準仕様書 平成31年版 誤字・脱字による修正箇所

項目番号等								誤	正	
章	節	項	(1)	(7)	(a)	①	㊦			表
1	1	1	(3)	(7)					5章から9章の各章	5章から9章 まで の各章
1	1	4	(1)						工期 又は 技術者の変更	工期、技術者 等 の変更
4	1	5	(4)						—	CLTパネル工法の構造方法に関する技術基準は、次による。
4	1	5	(4)		(b)				CLT材料	直交集成板
			(4)		(c)					
5	4	3	(2)	(ウ)					スクリュー 部 の長さ	スクリュー部長さ
5	5	3	(3)						損傷しないようにする	損傷 したり しないようにする
7	5	3	(3)							
8	5	3	(3)							
5	9	4	(1)	(7)					耐力壁 と	耐力壁 の
5	9	4	(1)	(7)				表5.9.2	面材耐力壁の種類	面材耐力壁の 構造用面材 の種類
5	9	5	(1)	(7)				表5.9.3		
5	9	5	(1)	(イ)					貫樹種	貫 の 樹種
6	5	4		(オ)					表6.5.2により、特記が無ければ、B種とする	表6.5.2により、 種別は特記による 。特記が無ければ、B種とする
6	5	15	(8)						挿入した確認印をつける	ジベル を挿入した確認印をつける
6	5	16	(10)						ボルト孔の径及び加工は、6.5.11による。また、ボルトの孔径、加工及び締め付け等は、6.5.11による。	ボルトの孔径、加工、締め付け等は、6.5.11による。
7	2	2		(カ)					又は部分	又は か しめ部分
7	2	2		(ク)					枠組材 は、	枠組材 で、
7	2	3		(ケ)					「 直交集成板 の規格」	「規格」
7	7	1		(7)	(f)				欠き込みを しない	欠き込みを してはならない
7	7	1		(7)	(k)				施工する場合、	施工する場合 の、
8	2	5	(6)		(b)	③	④	表8.2.7	丸座がね E種: 0	丸座がね E種: 90
8	4	3	(1)						交差部の形は、	交差部の形 状 は、
8	5	4							次による	次による 。
8	6	3	(4)						追従 する、	追従 し、
8	9	4		(オ)				図8.9.3	丸太組	丸太組 壁
9	5	4		(7)					公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」	「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」
10	2	4	(1)	(ウ)	(e)				つぶし頭釘打ち 及び	つぶし頭釘打ち 又は
10	3	2							ラワン及びを使用する	ラワン及び なら を使用する
10	5	2	(3)	(イ)				表10.5.1	雨掛り により	雨掛り の

項目番号等								誤	正	
章	節	項	(1)	(ア)	(a)	①	㉞			表
10	8	5	(3)	(イ)				表10.8.12	垂木彫りに差し込 む か又は	垂木彫りに差し込 み 又は
10	8	5	(3)	(イ)				表10.8.12	板じゃくりに乗せ掛 ける か又は	板じゃくりに乗せ掛け又は
11	2	4	(3)	(カ)					入 隅・ 出 隅は、	出 隅・ 入 隅は、
11	2	4	(6)	(ア)					硬化剤の調合及び混合は	硬化剤の調合及び かくはん 混合は
11	3	4	(4)	(オ)					マスキングテープを張り、で押え後、	マスキングテープを張り、 へら で押え 後、
11	4	3	(2)	(エ)	(e)					
14	3	3	(2)	(ア)					一重(小)の幅	一重 はぜ (小 はぜ)の はぜ 幅
			(2)	(イ)						
			(2)	(ア)						
			(3)							
14	3	4	(4)	(イ)						
			(4)	(エ)	(a)					
			(4)	(エ)	(b)					
			(4)	(エ)	(c)					
			(4)	(オ)						
			(2)							
			(3)	(イ)	(c)					
14	3	5	(3)	(イ)	(e)					
			(4)	(ア)	(a)	③				
			(4)	(ア)	(b)	④				
			(3)							
14	3	6	(4)	(ア)						
			(4)	(エ)						
			(4)	(オ)	(a)					
14	3	7	(4)							
14	3	8	(3)							
			(5)							
14	4	2	(1)							
			(2)	(ア)						
			(2)	(イ)						
14	8	3	(3)	(ア)						
			(4)	(エ)	(a)					
			(4)	(エ)	(b)					
14	3	4	(4)	(オ)						
			(4)	(ア)	(a)	②				
			(4)	(ア)	(b)	③				
14	3	5	(4)	(イ)	(c)					
			(4)	(エ)						
			(4)	(オ)						
14	3	6	(4)	(エ)						
			(4)	(オ)	(a)					
			(4)	(オ)	(b)					
14	3	4	(4)	(オ)						
14	5	3	(5)	(イ)	(e)					
20	1	2	(5)		(a)	①				
20	4	3	(5)	(イ)						

項目番号等							誤	正
章	節	項	(1)	(ア)	(a)	① ㉞		

【資料 規格・告示等適用一覧表】

1. 日本工業規格 (JIS)	G 3302:2017	G 3302:2019
	G 3318:2013	G 3318:2019
	G 3321:2017	G 3321:2019
3. 省令・告示等		
特殊な許容応力度及び特殊な材料強度を定める件	平成30年3月29日 国土交通省告示517号	平成30年12月12日 国土交通省告示1324号
構造耐力上主要な部分である壁及び床版に、枠組壁工法により設けられるものを用いる場合における技術的基準に適合する当該壁及び床版の構造方法を定める件	—	平成13年10月15日 国土交通省告示第1541号